



ジャンプタイムス

宇美町スポーツ少年団

〒811-2121 糟屋郡宇美町平和1-1-1

宇美町住民福祉センター内

Tel 092-933-2784・Fax 933-2741

Eメール umi-machij.s.c.a@leo.bbq.jp

編集:スポーツ少年団事務局



テコンドーと空手の武道交流では、お互いに演武や型の披露を行った後、グループに分かれて、技を教え合いました。テコンドーは足技中心の武道で、二段跳び蹴りなどの蹴り技を教えてもらい、日本からは空手の型を教えるなど、言葉は通じませんが、団員たちは積極的にしかも笑顔でコミュニケーションを行い、素晴らしい交流が行われました。

うみだすこ日韓青少年スポーツ交流 野球・テコンドーで国際交流

誠心館空手道・飛鳳会・宇美ジャイアンツ
宇美ジュニアーズ球団・ひばりが丘チェリオ

9月1日(金)と2日(土)の両日、韓国のソウル市にあるキョンヒ大学が運営するテコンドー道場と、野球クラブが宇美町を訪れ、宇美町スポーツ少年団と日韓スポーツ交流を行いました。

テコンドーとは、誠心館空手道と飛鳳会が、野球交流では、宇美ジュニアーズ球団・宇美ジャイアンツ・ひばりが丘チェリオが交流を行いました。

テコンドーと空手の武道交流は昨年に引き続き、野球は二年ぶりの交流となりました。言葉はほとんど通じないのですが、身振り手振りで意思の疎通を行うことができ、笑顔あふれる国際交流となりました。



2年ぶりとなった軟式野球交流は、原の前野球場で開かれ、韓国からは20名が、宇美町からは宇美ジュニアーズ球団、宇美ジャイアンツ、ひばりが丘チェリオの三チームから計約40名が参加しました。

最初に、韓国チーム対宇美町合同チームとの対抗戦を行い、次に全チームを混ぜての交流試合を行いました。

交流試合の後には、お母さん方手作りのカレーパーティーで交流を深めました。交流会では、スイカ割りを行いました。韓国ではスイカ割りの風習がないそうで、初体験の韓国の子供も大はしゃぎで、交流会は大いに盛り上がりました。



低学年の保護者の皆さん！ぜひお子さんと一緒にジャンプタイムスを読んでください！



おめでとう創立45周年 宇美ジャイアンツが記念大会を開催

11月19日「若杉少年野球連盟おわかれ大会・宇美ジャイアンツ45周年記念大会」が行われました。この日はものすごく寒かったのですが、部員20名全員が一つになり、チームにとって特別な今年最後の大会を無事に終える事ができました。

結果は6対3で惜しくも負けてしまいましたが、6年生が一人しかいない中、20人全員が同じ気持ちで頑張っていました。最後まで諦めない素晴らしい試合を最高の仲間と共に見せてくれました。この大会で感動をくれた子供達に感謝の気持ちでいっぱいです。

ここまで来られたのも監督・コーチのご指導、父母の方々の支えがあったからこそだと思います。本当にありがとうございました。この大会を開催するにあたり、日頃より宇美ジャイアンツの活動に対して理解をし、多数の協賛をして頂いた皆様にも感謝の気持ちでいっぱいです。これからも宇美ジャイアンツの事を宜しくお願い致します。

第38回毎日新聞社旗争奪少年野球大会 宇美ジュニアーズ球団



10月22・28・29日、11月3日に毎日新聞社旗争奪少年野球大会が、宇美町・須恵町・志免町の各会場で開催されました。この大会は、宇美ジュニアーズ球団が所属する東福岡少年軟式野球連盟が主管し、チーム一丸となってこの大会の優勝を目指し、一生懸命に練習してきました。

初戦は、有住リバーズに8対0で圧勝しました。二回戦は、寒い雨の中での試合でしたが、強豪チームの玉川スポーツ少年団に2対2の同点で、エキストラ回になり1対0で勝利を収め、ベスト8で準々決勝へ進出する事が出来ました。準々決勝は、大野ヤングライオンズと対戦し、接戦でしたが最終回で2点入れられ、6対8で敗れました。

残念ながら、優勝という目標には届きませんでしたが、チームスローガンである「ネバーギブアップ」という精神で、最後まで素晴らしい姿を見せてくれました。

この大会にご支援いただいた皆様、ありがとうございました。

若杉少年野球連盟会長杯・村田修一杯 宇美ジャイアンツが健闘！



第24回若杉少年野球連盟会長杯・村田修一杯少年野球大会が11月3日から開催されました。

この大会は、若杉少年野球連盟出身の村田修一選手から寄贈された優勝カップを争奪する大会です。今年度の試合も残り僅かとなり、部員が一丸となって「全員野球」で試合に臨みました。

一回戦の対戦相手は柳川城内ボーイズさん。初回は共に無得点。先制点を取ろうと試みるもなかなか点数につながらず、2・3回と失点を許してしまい、結果は3対7で負けてしまいました。今まで6年生一人という状況で、部員をまとめ頑張ってくれたキャプテンと共に勝利を掴むという目標は達成出来なかったけれど、部員ひとりひとりが100%の力を出し切り、全員で頑張りました。一つの目標に向かってみんなで努力し、精進していく事は大変な事です。一緒に頑張り、苦楽を共にした仲間は、生涯の宝になると思います。

これからは、今大会の悔しさをバネにチーム一丸となって、より一層練習に励みます。来年の村田修一杯では、優勝を目指して頑張りたいと思います。

〈試合結果〉【優勝】尾仲ファイターズ
【準優勝】原北ウィングス



宇美町小学生親善バレーボール大会 さくらwingが準優勝！

悔いなくしっかり戦えました
さくらWing 末崎 美桜樹

平成29年11月23日に宇美東中学校・勤労者体育センター両会場で、宇美町親善小学生バレーボール大会が行われました。私たち宇美町バレーボールチームの他に14チームが遠方近隣より集まり、予選・決勝トーナメントと戦いました。6年生にとっては残り少ない大会の一つです。今年は例年より少し寒かったのですが、寒さに負けず戦いができました。

私たちさくらWingは、予選で負けてしまったチームに決勝トーナメントでまた当たり、負けてしまい準優勝という結果でしたが、決勝まで戦えた事に悔いはありません。

この大会に協力してくださった方々、参加してくださったチームの方々、ありがとうございました。



第15回西田治杯サッカー大会を開催 原田フットボールクラブ



やっぱりサッカーが好きだ

原田FC主将 川口 大智

平成29年11月4・5日に宇美町総合グラウンドで、原田FCの元監督だった故 西田治さんの追悼大会である「第15回西田治杯サッカー交流大会」が開かれました。福岡県内各地から16チームが集まり、優勝を目指して本気で戦いました。

日頃の練習の成果を発揮すべく、保護者の声援を受けて一生懸命がんばりましたが、結果は4位でした。くやしくて悲しい気持ちにもなりましたが、まだまだ練習が足りないんだなあとも思いました。これからも大好きなチームの仲間たちと苦しい練習も一緒にがんばって、もっともっと大好きなサッカーが上手になればと思います。

最後に、無事大会が終了できたのは、関係者のすべてのみなさまのおかげです。ありがとうございました。

福岡県スポ少サッカー交流大会 宇美Jr.S C・原田F Cが参加



平成29年11月4・5日、原田フットボールクラブと宇美ジュニアサッカークラブの合同チームで、福岡県スポーツ少年団サッカー交流大会に出場しました。

初めて組んだチームメイトというもあり、一日目は意志の疎通が図れず、四位リーグ進出という結果でしたが、二日目はお互いに声を掛け合ったり、指示を出したりすることができるようになり、リーグ優勝を収めました。子ども達にとって、貴重な経験になりました。

どの単位団でも入団できるよ！(ミニバスケは校区分けあり) 自分に合った種目、単位団を探してみよう！

宇美八幡宮秋季奉納演武会を開催 合気道祥雲塾



高山永遠君の豪快な演武。受けはリーダー会の田中和君

緊張した演武会

宇美小学校 6年 高山 永遠

10月9日(体育の日)に宇美町立武道館において宇美八幡秋季奉納演武会が開かれました。私は、合気道を一年の時に始め、今年の演武会で初めて少年部の最後の演武を担当しました。決まった時は、うれしい気持ちや緊張した気持ちでいっぱいでした。

演武会当日、他の中級以上の上級生たちは受け身の技を覚えて、初心者の演武のフォローをしていました。自分の演武はちゃんとできましたが、緊張のあまり最後のあいさつを本当は「ありがとうございます」なのに「お願いします」と言いかけてしまいました。

初心者の受け身は、演武もあいさつもきちんとできましたが、他の先輩や同級生は、残心(技をかけ終えた後も相手の反撃に備え構えをとること)をしたりして相手の演武をきれいに见せることができていました。私の技を受けてくれた先輩も、私の受け身で残心をしてくれたので、あとで動画を見なおすと技をかけた私の方まで上手に見えました。

私は最後にケーブルテレビの取材でインタビューも受けさせていただきました。緊張せずにちゃんと答えることができたのでよかったです。今回の演武会では、緊張したり間違えたりしましたが、次の演武会では、後輩の受け身まで十分準備して自分の演武だけでなく後輩の演武もいいものになるようにしたいです。

宇美八幡宮奉納剣道大会 宇美剣友会少年剣道



宇美八幡宮奉納剣道大会を終えて 宇美東中学校 二年 大楠 理央

私は、10月9日に行われた宇美八幡宮奉納剣道大会に参加しました。

個人戦が終わって、団体戦が始まりました。団体戦は一人で戦うのではなく、チームの人と心を一つにして頑張る必要があります。一回戦目、二回戦目は勝つことができました。私は、三回戦目を勝てば三位に入賞することができるので、「絶対に勝とう。」と思い、試合に臨みました。しかし、勝つことは出来ませんでした。私は、団体戦を終えて「もっと自分にはできることはあったはず。もっと冷静になれたらよかった。」と後悔しました。次の試合では、チームの人の足を引っ張らないようにして、一本でも多く勝てるように頑張りたいです。

私は、この大会では良い結果を残すことができませんでした。だから、これからの稽古では今まで以上に声を出すことや試合中、冷静に考えることを意識していきたいです。そして、次からの大会では良い結果を残すことができるように頑張っていきたいです。

宇美八幡宮奉納柔道大会 小学生の部で見事優勝！ 宇美町少年柔道教室



宇美八幡宮奉納柔道大会を終えて 井野小学校6年 白垣 優臣

十月十五日に宇美八幡宮奉納柔道大会が開かれました。ぼくは、宇美町少年柔道教室の代表として選手宣誓をしました。その時、「絶対、優勝してやる！」と思いました。今まで練習をしてきて、兄弟三人で団体戦のレギュラーに入っているのも、ますます気合が入りました。結果、優勝することが出来ました。自分は全勝し、弟も全勝、妹は一回負けましたが、チームで優勝することが出来ました。これは、いつも練習をしてくれている仲間や監督、コーチ、応援してくれているお父さん、お母さんのおかげだと思います。

また、同じ日に奉納相撲大会があり、柔道、相撲ともに優勝することが出来ました。いつも応援してくれる先生や父兄の皆さんに感謝の気持ちでいっぱいです。

これから中学生になっても、柔道に励み、お父さんの柔道成績を抜けるように頑張ります。それと、「感謝」を忘れない人間になっていきたいです。

宇美町は日本でも有数の武道が盛んな町なんだよ！さあ君も武道で心と身体を鍛えよう！



左から代表者の森 大輔さん、栗田 空来くん、森 麗有さん、清水 奏匠さんと町長



サバキチャレンジ全日本空手道選手権大会 飛鳳会の三人が見事優勝！

こんにちは！宇美町・須恵町・志免町を中心に活動しております「飛鳳会」です。私達「飛鳳会」は、フルコンタクト空手をメインとして、型・グローブ空手・サバキ空手などあらゆる分野に挑戦しています。

平成29年10月8日に行われました、「第25回サバキチャレンジ全日本空手道選手権大会」におきまして、各都道府県予選を勝ち抜き選抜された選手と厳しいトーナメントを闘い抜いた結果、飛鳳会より森麗有(小学女子軽量級)、清水奏匡(小学男子軽量級)、栗田空来(中学男子重量級)の3名の選手が、見事全日本1位に輝くことが出来ました。

この大会で優勝を勝ち取るのは大変名誉あることで、本会から3名の全日本優勝者を輩出できたことは素晴らしい功績です。10月20日には、この功績を持って宇美町木原忠町長の元へ表敬訪問させていただき、賞賛と激励の言葉を頂きました。今後も更なる高みを目指して、日々稽古を頑張っていきます。

飛鳳会では、年少児から中学生そして大人まで笑顔で楽しく空手に取り組んでいます。各々がそれぞれの目標に向かって、体力的にも精神的にも強くなれるよう、仲間たちと一緒に空手を頑張っています。興味のある方は、ぜひ一度見学に来てくださいね！

【飛鳳会 代表 森大輔 090-1081-1669】



誠心館空手道全国オープン選手権 宇美町選手団が大奮闘！

10月29日(日)一般社団法人国際沖縄少林寺流誠心館空手道オープン選手権大会が、アクション福岡の会場で選手・役員約350名が参加し盛大に開催されました。昨年のニュージーランドに続いて、今回はフランスからの参加があり、国際色豊かな大会となりました。

大会では、型・組手・古武道の3部門で試合が行われ、宇美町スポーツ少年団の子ども達も多く参加し、白熱した試合を展開しました。期待通りの活躍を見せるも、なかには勝負に負け悔しさのあまり座り込み涙する選手もいて、来賓の方はもとより、応援の家族・指導者に希望と感動を与えてくれました。

大会を通じて子ども達は、日頃の練習の大切さを痛感したと思います。今後も子ども達の更なる努力に期待します。

福岡地区本部長 御手洗政年



試合結果 (宇美町関係)

(宇美支部-宇・宇美八幡本部-八・山ノ内本部-山)

型の部▼小学初級の部 優勝 西 志翔(宇) 三位 石田 海唯(宇)▼小学中級の部 優勝 御手洗壺嘉(宇) 二位 小西 雄大(宇) 三位 倉津 希望(山)▼小学上級の部 優勝 中園 翠希(山) 二位 麻生 果南実(八)▼中学・高校・一般女子の部 二位 中園 陽菜(山)▼中学男子の部 優勝 佐藤 匠(八) 二位 田中 直人(八)▼高校男子の部 優勝 岩下 稜(宇)

組手の部▼小学1・2年男子の部 二位 白石 光桜(八) 三位 御手洗壺嘉(宇)▼小学3・4年女子の部 二位 井上 心友(宇) 三位 倉津 希望(山)▼小学5・6年女子の部 優勝 中園 翠希(山) 三位 松尾 虹泉(山)▼中学男子の部 優勝 田中 直人(八) 三位 佐藤 匠(八)▼高校男子の部 優勝 井上 翔太(宇) 二位 岩下 稜(宇)

古武道(棒術)の部▼小・中・男女・高・一般女子の部 優勝 中園 翠希(山) 二位 倉津 愛望(山)

各単位団の特徴ある取り組みや大会の結果等を掲載しますので、写真を添えてどしどし投稿してください



福岡県スポ少剣道交流大会 永井 晴君が個人戦優勝 宇美剣友会少年剣道

宇美剣友会 桜原小6年 永井 晴

11月5日に福岡県スポーツ少年団剣道交流大会がありました。この大会は、団体戦で優勝すれば全国大会までつながる試合で、チームのみんなで全国大会出場を目指し試合に挑みました。

まずは個人戦。僕は去年決勝戦で負け、準優勝とても悔しい思いをしたので、今年こそは必ず優勝すると心に決め試合をしました。1回戦から延長になり、面を決め何とか勝つことができました。2回戦、3回戦、準決勝と順調に勝ち上がり、いよいよ決勝戦を迎えました。お互いに技が決まらず延長戦になり、試合の中で、「打てる」と思い、思いっきり打った面が決まり優勝することができました。

この勢いで、「団体戦も優勝するぞ！」と言う気持ちで試合に望みました。1回戦から強豪チームとの対戦で、互いに一步も譲らず試合は代表戦となり、結果敗れてしまいました。そのチームがそのまま優勝し、負けた悔しさもありますが、優勝チームと互角に戦えたことを自信に変えたいと思います。

この大会を通して、自分の良いところや悪いところを見つけて出すことができたので、今回学んだことを今後の稽古に生かして、もっと強くなれるように頑張ります。

第37回レインボー九州ソフトボール大会 明治バイソンが3位入賞！



第37回レインボー九州ソフトボール大会が8月20・21日に福岡県みやま市で開催されました。九州各地区の予選を勝ち抜いた48チームで頂点を目指し争いました。

開会式では号砲が何発も打ち上がり、高田中学校ブラスバンド部の生演奏に乗って、堂々と入場行進を行いました。素晴らしい開会式及び白熱した試合に、会場はあたたかも甲子園球場での高校野球大会を彷彿させる熱気に包まれました。

明治バイソンは準決勝で、最終的に今大会で優勝した清道クラブジュニア(博多区)に惜しくも2対3で敗れ、3位という結果を残しました。準決勝の試合後のミーティングで指導者とともに悔し涙を流しましたが、九州大会3位という経験は子供達を心身共に大きく成長させました。

第10回太宰府メモリアルパーク旗争奪 太宰府少年ソフトボール大会 明治バイソンが見事優勝！



10月7日太宰府市大佐野スポーツ公園にて、第10回太宰府メモリアルパーク旗争奪太宰府少年ソフトボール大会が開催され、明治バイソンが優勝しました。

予選リーグ初戦でいきなり、夏の九州大会覇者の太宰府西レッドファイヤーズと対戦しましたが、2対1で逆転勝ちをし、そのまま勢いに乗ってその後の試合も勝ち抜き、見事優勝旗を手にしました。

主将の田中悠稀君(宇美小6年)は「この大会で優勝できたのは、チームみんなの気持ちがひとつになって、いつも以上の力を発揮することができたからだと思っています。優勝旗がもらえて本当に嬉しかったです。」と話していました。

新しい仲間が増えたよ！ STANDARDS(スタンダーズ) 軟式野球の単位団が新加盟

STANDARDSは社会人野球チームで活動しているSTANDARDSのジュニアチームとして発足しました。メンバーのほとんどが初心者で、一緒に野球をしてみたらとっても楽しかった！もっと野球がしたい！と思って集まったチームです。

週に2日の練習ですが、自分たちで考え練習に取り組み、グラウンドへ行くのもチームの活動としてみんなで行っています。自分を自分で守れる行動ができるようになるため、なるべく保護者の手を借りず、自分のことは自分ですることを目標にがんばっています！

監督も特別な指導をしているわけではなく、練習メニューの選択やなぜこの練習をするのかなどといった意味を伝え、メンバー自身でそれを決め、ときにはメンバー同士、意見がぶつかることもあります。個人の問題ではなく、チームの問題として捉え解決に向けたりなど主体的に活動しています。

生活面や勉強面以外にもSTANDARDSは人としての成長を第一に何事にも全力で取り組んでいます。

11月に2泊3日で合宿を行いました。高学年のメンバーは社会勉強の一環として自分達で公共交通機関を利用し八女市まで行くことができました。



合宿は民家で行い、ユニフォームの洗濯や茶碗洗い、練習場所への移動もメンバー全員でランニング移動と全部自分達のことは自分達で行い、野球以外の面でも大きく成長することができました。練習では廃校になった中学校のグラウンドをお借りし、朝から晩まで野球を楽しむことができました。これらも全て保護者や地域の方々の手厚い応援や支えのおかげと子どもたちも感じることができ、おとうさんやおかあさんたちへの感謝の気持ちをそれぞれ伝え、合宿を無事終えることができました。まだまだ足りないところもたくさんありますが、メンバーそれぞれの良さを自分達で引き出し、これからも笑顔の絶えないチームを自分達で作り上げていきますのでどうぞよろしく願いいたします！

練習日：毎週土曜日 9:00～18:00 14:00～18:00
平日週1日 17:00～19:00

会場：宇美町の小学校

部費：月1,000円 年間保険料 1,620円

連絡先：代表 田中(090-7456-5639)

第12回宇美町ジュニアソフトボール下級生大会 ちびっ子球児がハッスルプレイ



10月9日(祝)に寺浦運動広場・宇美中学校の2会場にて12回目となる宇美町ソフトボール下級生大会が開催されました。宇美町内のソフトボールチーム(ひばりが丘チェリオと明治バイソン・四王寺坂フェローズ合同チーム)と糟屋郡内、福岡市内、春日市などの少年ソフトボール20チームが集まり、晴天の中、熱戦が繰り広げられました。

下級生大会は、4年生以下で編成されます。日頃、上級生が中心で、なかなか試合に出られない選手たちも、この日はスタメンで張り切ってグラウンドを駆け回っていました。宇美町2チームは予選敗退してしまいましたが、この経験を生かしてまた次に向かって練習に励んでいきたいと思っています。

優勝・・・紅葉ヶ丘スポーツ少年団(春日市)
準優勝・・・清道クラブジュニア(福岡市)

宇美町招待ジュニアソフトボール大会 明治バイソンが見事優勝！



平成29年11月12日(日)に宇美町招待ジュニアソフトボール大会が開催されました。

決勝トーナメントは宇美町から明治バイソンが勝ち上がり、接戦の末、見事優勝しました。主将の田中悠稀君は「宇美町で毎年行われているこの大会で絶対に優勝したいと思っていました。1日6試合ありきびしい試合が続きましたが、チーム一丸となって優勝することができました。いい経験ができて本当に嬉しかったです。」と語ってくれました。

グラウンドのあちらこちらで必死に応援したり、懸命にボールを追いかけてりする姿や、パワーあふれるプレーがたくさん見られました。どのチームもたくさんの経験をし、素晴らしい1日になったことと思います。

運営に協力を頂いた、指導者、保護者をはじめ、応援をくださった皆様ありがとうございました。

宇美町スポーツ少年団は日本スポーツ少年団に加盟しています。全国に約70万人も仲間がいるんだよ！



九州ブロックリーダー研究大会 宇美町から3名が参加 ACPを活用してリーダー会を活性化

10月21日(土)～22日(日)に、大分県大分市の「のつはる少年自然の家」で開催された九州ブロックスポーツ少年団リーダー研究大会に、宇美町リーダー会から、合気道祥雲塾の田中和君と、誠心館空手道宇美八幡本部の佐藤匠君が参加し、九州各県のリーダーと交流を深めるとともに、様々なシチュエーションに応じたACPやレクリエーションの活用法を学習してきました。



レクリエーションの実技を行った後に工夫した点などを発表する佐藤匠君



「宅配便」というレクリエーション実技を行う田中和君



レクリエーションの実技を行った後に質問を受け回答している田中和君

オーシャンカップを開催 原田バンビーズが準優勝！



平成29年11月19日(日)全8チームによるオーシャンカップ戦を開催しました。宇美町チームのキャプテン・選手に感想を聞きました。

〈宇美ドリームダンカーズ・印 日菜子〉宇美の女子3チームと他のチームでカップ戦がありました。とても寒い日でしたが、保護者の方たちやチームメイトの応援で一生懸命プレーすることができました。そして他のチームの友達ができ、良い思い出ができました。

〈原田バンビーズ・林 愛翔〉私は11月19日にミニバス最後のオーシャンカップという大会に参加しました。試合では練習したことを発揮し、協力プレーでせめる事が出来ました。パスミスやチャッチミスなどにも気をつけてプレーし、ディフェンスではカバーやブロックなども頑張ってプレーすることが出来ました。試合中や応援席で声を出して、チームのみんなとミスを減らす努力をしました。原田バンビーズは2勝1敗で準優勝でした。みんなで協力して試合や応援ができたので良かったです。

〈桜原ミニバス・宗 芹葉〉今回のオーシャンカップには、長崎のチームも参加。6年生にとっては最後のオーシャンカップでした。宇美3チームの選手はみんな仲が良く、試合が始まる前に「頑張ろうね。」と声をかけあうなど交流を深める事が出来ました。今後もオーシャンカップに数多くのチームが参加し、バスケの輪が広がるといいなと思います。

すてきなリーダー紹介

合気道祥雲塾 田中 和(中3)



合気道祥雲塾の田中和(なごむ)です。リーダー会には発足時から入会していて、様々な活動に取り組んでいます。

リーダー活動に興味を持ったきっかけは、小学6年生の時に参加した「全国スポーツ少年大会」です。

大阪府で開催された全国スポーツ少年大会では、シップス活動やキャンプファイヤーなどの交流プログラムを全てリーダー会が運営していて、大勢の前で堂々と話したり、運営を取り仕切っているリーダーを見て「カッコいい！僕も人前で堂々と話せるリーダーになりたい。」と思いました。

スポーツ少年団では合気道に、そして中学の部活動では剣道に打ち込みました。合気道は姉の影響で、小学1年生から始めて、現在は準1級です。来年中に初段を取得することが目標です。

中学1年から福岡県スポーツ少年団リーダー会にも入会し、現在は副会長をやっています。これから経験を積んでいきたいです。来年は、静岡で開催されるシニアリーダーズスクールに参加して、シニアリーダー資格を取得するとともに、全国で活躍しているリーダー達と友達になりたいです。また、日独同時交流にも参加してみたいし、将来は合気道の指導者になれるよう、頑張っていきたいです。



シップス活動交流会にはリーダー会から14名が参加し、アイスブレイクレクリエーションで、関所破りや、ジェスチャーゲームで交流会を深めてくれました。また、班付リーダーとして、班をまとめました。

宇美町スポーツ少年団リーダー会（Uし会）では、只今新規会員大募集中です。

ジュニアリーダースクールなどに参加した団員が入会し、9月末で35名まで会員が増えました。

現在、ジュニアリーダースクールの企画を行ったり、「リーダーズUMI」という機関紙を作って活動をPRしています。

リーダー会に入って、私たちといっしょに活動しませんか？あなたの参加を待ってます！

只今！新規会員大募集中
宇美町リーダー会

宇美町スポーツ少年団リーダー会の主な活動

定例会の開催とレクの実技講習



偶数月の第4日曜日を基準に、17:00～18:30の間に定例会を開催しています。定例会では、各事業の企画や反省を行ったり、アクティブ・チャイルド・プログラムや各種レクリエーションの実技講習を行い、毎回5種目程度を習得して単位団での活動などに役立てています。

ジュニアリーダースクールの企画運営



ジュニアリーダースクールでは、レクリエーション研修や、メインプログラムのキャンドルのつどいの企画と運営を行います。また、班付リーダーとして、各班の団員を取りまとめ、引っ張っていきます。ジュニアリーダー資格の取得だけでなく、リーダー会活動の集大成の場として活用しています。

国際交流活動

国際感覚豊かなリーダーの育成をめざし、日独スポーツ少年団同時交流事業でドイツ団の受け入れや、団員を派遣していきたいと考えています。また、日韓青少年スポーツ交流事業で韓国の青少年と交流する機会をつくっていきます。



全国の仲間たちとの交流



九州ブロックリーダー研究大会には、九州各県からトップリーダーが集結し、一泊二日でアクティブ・チャイルド・プログラムやレクリエーション活動などの研修を行っています。今年は熊本県で開催されるよ。君も全国に仲間をつくろう！

リーダー会員認定証を 発行しています

公認資格であるジュニアリーダーやシニアリーダー資格を取得して、リーダー会の活動で頑張っている会員が高校や大学等の受験を行う際に有利になるよう、内申書などの調査票にリーダー会での活動を記載してもらえようように、所属する学校長あてに「宇美町スポーツ少年団リーダー会員認定証」を本部長名で発行しています。

リーダーの活動は、スポーツ少年団本部が精いっぱいバックアップしていきますので、三者面談などでのPRも忘れずに行ってください。

③消毒はしない。常在菌は味方です

消毒液は、細菌のタンパク質を破壊することで細菌を殺します。細菌を殺すと同時に実は傷を治そうとする発芽細胞までも殺してしまうため、傷の治りが遅くなってしまうのです。

また、皮膚には常在菌が多数生息しています。常在菌は毛根や汗腺に生息しており、消毒を行っても数時間で傷口は常在菌でいっぱいになります。しかし、常在菌は傷を悪化させるような悪さはしません。むしろ傷を化膿させる細菌の増殖を防いでくれます。傷を治すための味方は大切にしましょう！

④傷は乾かさないで！

傷を水道水で洗った後はどうすべきでしょうか？ 傷を乾燥させないことが傷を早く治すことにつながります。傷が乾燥すると傷の表面の細胞が干上がって壊死します。この死んだ細胞の塊が「かさぶた」なのです。

傷の部分ににじみ出てくる滲出液には、線維芽細胞や血管内皮細胞に加え、皮膚の元になる細胞を元気にする成分が多く含まれています。この浸出液で常に傷口が潤った状態にしておくことが大切です。

このため、絆創膏はガーゼがついているものではなく、傷を乾燥させないような新しいタイプの絆創膏を使いましょう。市販のものでは「バンドエイドキズパワーパッド」がお勧めです。



酷い擦り傷も湿潤療法で治療すれば3日間でこのとおり！
かさぶたもできておらず、傷跡もほとんど残りません。

⑤キズの面積が大きい場合は 台所用ラップで代用しましょう

「擦り傷」の場合は、傷の面積が大きいので、市販の絆創膏では傷を覆いきれません。その際は台所用のラップで代用しましょう。傷を洗った後、傷の面積よりも大きくラップを切って傷を覆います。ラップが取れないようにテープで留めれば完成です。

一日に一度の目安で張り換えましょう。その際は水道で傷を再度洗ってから張ってください。

⑥湿潤療法の注意点

次の事例は最初から医師の診断を受けましょう。

- ①深い裂傷。(縫わなければならないような裂傷。)
- ②動物による噛みキズやひっかき傷。(狂犬病や破傷風の危険性があります。)
- ③出血がひどく、止血しても血が止まらない場合。
- ④重度と思われる熱傷。(やけどした場合は、とにかく冷水で冷やしてください。冷やした後、または冷やしながら病院に向かってください。)

お奨め！湿潤(ラップ)療法 傷の消毒・乾燥は実は厳禁だった

スポーツ少年団の活動中では、「擦り傷」や「切り傷」がよく発生します。「擦り傷」や「軽微な切り傷」が発生した場合、これまでの治療法としてまず頭に浮かぶのは、「消毒液で消毒してガーゼなどを当てて傷口を乾かす。」だったと思います。しかし、これらの治療法は、実はやってはいけないことだったのです。

あなたの常識は非常識になっているかも

これまで「擦り傷」や「軽微な切り傷」の治療法として、最初に「消毒薬で傷を消毒。」そして、「ガーゼなどを当てて乾燥させる。」「かさぶたができたならもうすぐ直る証拠！」……という感じで済ませていませんか？

この方法は、傷の治療法としては適切ではありません。むかしからやってきたことだからと言って正しいとは限らないのです。

今後は、「消毒しない！」「乾かさない！」「かさぶたを作らない！」の三ない治療である「湿潤療法(ラップ療法)」を試してみましょう！

①自然治癒力を活した湿潤(ラップ)療法



台所用ラップと医療用粘着テープを使用します

傷口からにじみ出てくる滲出液(しんしゅつえき)には皮膚を再生させる物質がたくさん含まれています。湿潤療法は傷口を乾燥させないで、滲出液を傷口に潤わせて早く治す治療法です。実際にかさぶたができてしまう場合と比べて、3倍～10倍も早く治りますし、傷跡も残りにくく体に優しく自然で効果的な療法なのです。

②まずは傷を水道水で良く洗う

水で洗う



汚れた傷



歯ブラシ



擦り傷、かすり傷、切り傷ができたなら、消毒ではなく、まずは水で洗浄！

「擦り傷」や「軽微な切り傷」ができた場合真っ先に行うことは、傷を水道水で丁寧に洗うことです。日本の水道水は世界一安全といわれています。多少痛みはありますが、やわらかめの歯ブラシを使って、傷口についている砂やゴミなどの異物を丁寧に取り除くことが大切です。異物が残っていると免疫細胞が反応したり、傷が化膿する原因となります。

平成29年度スポーツリーダー養成講習会兼認定員養成講習会が、11月19日(日)・26日(日)に、宇美南町民センター及び、宇美町地域交流センターで開催され、32名(宇美町から16名)が参加しました。これで宇美町の公認有資格指導者は130人を超えました。

認定員養成講習会は、団員の指導や単位団を運営していくうえで必要な、スポーツ少年団の理念や意義そして組織を正しく理解するとともに、安全な指導を行う上で必要な医学的知識や適切な指導法等を学びます。

スポーツリーダー資格は、日本体育協会の公認資格で、今後上級資格の取得をめざすうえでも必須の資格です。来年以降も宇美町で開催する予定です。まだ公認資格を持っていない指導者の方、これから指導者になろうとする方は、来年度に是非取得してください。



子ども達を安全に指導するため、二日間にわたり真剣に講習を受けていただきました。本当にご苦勞様でした



子ども達が大好きで、盛り上がること間違いなしのレク「ダイコン抜き」を体験してもらいました



今回も大塚製薬さんの協賛を得て、団員の命に係わる病気である熱中症予防講習を取り入れました

スポーツリーダー養成講習会兼 認定員養成講習会を開催 32名(内宇美町より16名)が参加



単位団活動に沢山の運動遊びを取り入れてもらおうと、A・C・P(アクティブチャイルドプログラム)実技講習を取り入れました。

指導者協議会へのご理解と 多数の出席をお願いします



宇美町スポーツ少年団指導者協議会は、平成18年に発足し、今年で12年が経過しました。

指導者協議会では、スポーツ少年団の指導に関する事項を協議し、指導者の資質を高め、指導力の向上を図ることを目的としており、総会を含めて年に4回ほど開催しています。

指導者協議会の役員は、会長1名、副会長4名で、スポーツ少年団役員会にも出席していただき、本部事業の運営にも協力していただいています。

指導者協議会では、出席された指導者に各単位団の指導方針や指導方法等を発表していただいています。こうした情報交流を頻繁に行うことで、単位団の指導法や運営面での改善点などもみつき、団員減少を食い止めることにもつながっています。今年は27単位団中12の単位団で団員が増加(4単位団が維持)しました。

宇美町スポーツ少年団では、指導者の資質の向上とリーダーの育成にも力を入れており、指導者・母集団研修会は年に2回開催しています。研修会の内容は、指導者協議会の意見や要望を反映させ、質も高く毎回多くの方が参加され、好評いただいています。

リーダー会活動も、指導者の理解と協力がなければ成り立ちません。

今後とも、指導者協議会へのご理解及びご協力並びにご出席をお願いします。



指導者の横顔

宇美町少年野球教室
指導者 谷口高志さん

谷口高志さんは、小学校5年生から宇美町少年野球教室で野球を始められ、地元の中学・高校、そして宮崎産業経営大学硬式野球部で野球を続けてこられました。

学生時代に部活動が休みのときには、必ず野球教室に顔を出して、よきお兄さんの立場から後輩たちの面倒をみてくれていました。今でも少年野球教室には、沢山のOBが顔を出して、後輩たちの指導を行っています。

野球教室の指導者になったのは、大学を卒業して2年目に当時の代表指導者だった近藤さんから、指導者として登録を行い、団員の指導にあたってくれと頼まれ、以後18年間指導を続けておられます。

実は、現野球教室の代表者である谷口三男さんは、高志さんのお父さんです。三男さんは、高志さんが野球を始めた頃に、いつも物陰から高志さんの練習の様子を見ておられたそうですが、近藤さんがその姿に気づいて、指導者に誘われて以来31年間、現在は親子鷹で野球教室を指導されています。お二人の姿にひかれて、現在は団員のお父さん3人も指導者として活動されるなど、野球教室の指導者体制も充実しています。

野球教室では、団員自ら積極的に挨拶や声だしができるよう雰囲気作りにも心掛けておられます。また、毎週日曜日の午前中3時間だけの練習で、他の単位団と比べると練習時間が少ないのですが、団員たちが中学校の部活動などでしっかりついていけるように、基礎的な技術指導も大切にするとともに、体力面でもついていけるよう、走り込み等も取り入れているそうです。



とっても素敵な単位団紹介 宇美町少年野球教室



OBが顔を出しやすい雰囲気大切に



指導者の谷口高志さんも、学生時代は部活が休みの日には欠かさず野球教室に顔を出して後輩たちの指導を行っていました。

野球教室では、多くのOB達が部活動の練習が休みのときに、顔を出して後輩たちの指導を行っています。

団員達もお兄さんたちのプレイを見て、「あんなふうに野球が上手になりたいな〜！」と感じながらいつも練習に取り組んでいます。

野球教室は、宇美町スポーツ少年団のジュニアリーダースクールやシブス活動交流会、指導者母集団研修会等の行事に全て参加されています。様々な情報交流をはじめとして、他の単位団の良いところ等を積極的に取り入れようとする指導者の姿勢が団員にも伝わり、「後輩たちのめんどうは僕たちが見るんだ。」という姿勢や雰囲気につながっていると感じました。

STANDARDS(新規加盟団)と練習試合 団員みんなが出場したよ！



11月に新規加盟された、STANDARDSさんと 12月10日(日)に練習試合を行いました。

団員のお父さんで、指導者になられた梅田さんと STANDARDSの指導者が、11月に宇美町で開催された認定員養成講習会に参加され、情報交換をしているうちに、「ぜひ練習試合をやりましょう！」と意気投合し、この日の試合が実現しました。

多くの保護者の応援のもとで、下級生団員も全員出場でき、団員達も日ごろの練習の成果を精いっぱい発揮しようと、声を掛け合い頑張っていました。

とっても素敵な単位団「宇美町少年野球教室」は、今年で創設37年を迎える、伝統ある野球教室で、宇美町スポーツ少年団にも設立当初から加盟しています。

練習は、毎週日曜日の8時30分～12時00分まで、桜原小学校グラウンドで行っています。

練習は週一回ですが、基本をしっかりと身につけて団体生活におけるコミュニケーションを野球を通して学ぶ。大きな声でチームプレイのできる子どもの育成に取り組んでいます。

ただ今、新入団員大募集中です。体験はいつでも大歓迎です。お待ちしております。



僕と一緒に野球やってみない！ 山口 翔平君(井野小6年生)



野球教室キャプテンの山口翔平君は、井野小学校の6年生です。

野球教室は、大会には出ませんが、年に3回ほど練習試合を行っています。試合で活かせるように、シートノック等の練習は集中して行っています。また、体力作りのためのランニングも団員みんなで声を掛け合いながら、頑張っています。

団員みんなで力を合わせて、声を掛け合いながら行う野球がとっても楽しいです。

僕たちといっしょに野球を始めませんか？

体験はいつでも大歓迎です。桜原小学校グラウンドに遊びにきてネ！

只今！新入団員大募集中！ 桜原小学校グラウンドに見学に来てね！

* 練習場所 桜原小学校グラウンド

* 練習日・時間 毎週日曜日(8:30～12:00)

* 会費等 月会費1,000円

* 対象者 年長児(5才)～小学生の男女

宇美町スポーツ少年団では13種目27単位団で約780人の団員と182人の登録指導者が活動しています